

がん関連脳梗塞に関する診療実態調査に関する 患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター脳神経内科では、「がん関連脳梗塞に関する診療実態調査」に参加することになりました。

この研究の目的は、担癌患者さんに発症した脳梗塞の治療結果を調べて、担癌状態が脳梗塞の発症・予後にどのような影響を及ぼすか、またその病態と予後を明らかにすることです。

この研究のため、**2022年4月14日より2028年10月31日**までの期間に担癌患者さんで脳梗塞を発症し当院で検査治療をされた方の年齢性別、治療内容、画像検査の結果、発症前・3ヶ月後の身体機能などの調査を行います。調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（問診記録・診察所見・検査所見・画像所見・治療内容）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータ（註：データは匿名化されたデータのみは本研究の代表であります慶應義塾大学医学部 神経内科に記録媒体（パスワード付きのDVD/CD）にて送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設は慶應義塾大学病院神経内科 済生会横浜市東部病院 埼玉医科大学国際医療センター、東海大学医学部附属病院、東海大学医学部附属八王子病院、東京都済生会中央病院です。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

2022年4月

研究責任者

東京医療センター 脳神経内科

安富 大祐

連絡先 03-3411-0111(代表)